

インタビュ



北原産業
代表取締役

北原 忠氏

食品容器有力メーカーの北原産業（岡山県倉敷市、〒086・526・3040）は、プラスチック・紙の両分野で強みを生かした新製品を次々と投入し、「新常态」のニーズへ適応を図っている。いかなる状況でも攻めの姿勢を貫く同社の北原忠社長に、これからの展望を語ってもらった。

コロナ禍で社会構造が変貌を遂げるのに伴い、さまざまなニューノーマル文化が形成され、例えは、テイクアウトやデリバリーなどで食事を楽しむ習慣は、今では当たり前前のサービスとして定着しつつあります。また、消費者の衛生意識が高まるに従い、スーパーや小売店などでの個包

紙製の「テイクポック」や「スリム」をはじめ飲食店の要望に応えたテイクアウト容器や、さまざまな用途に対応できる「嵌合フードパックシリーズ」など、豊富なアイテムをそろ

えている点を評価いただいております。また、こうした新製品や注目シリーズをより広く発信するべく、昨年には北原産業公式インスタグラムを開設いたしました。デジタルリー

にも役立つ試みとして、得意先からも非常に好評です。さて、近年の小容量ニーズ傾向なども後押しとなり、容器が必要とされるシーンは、今後ますます増加していくものと

ただける「良い商品づくり」を念頭に、競合他社にはない発想と技術開発力を駆使し、独自の提案を行ってまいりたいと考えています。新型コロナの完全収束はまだ見通せず。

こうした状況下、当社ではこの一年を、市場を見極める「精査の年」と位置付け、新たな時代に真に求められる提案を追求するとともに、開発重視の姿勢で臨みます。そして、お客さまの期待に応えるべく、当社にしか作れない商品づくりにまい進してまいります。

新規開発へ攻めの姿勢

ニューノーマルの先を見据えて

紙製の「テイクポック」や「スリム」をはじめ飲食店の要望に応えたテイクアウト容器や、さまざまな用途に対応できる「嵌合フードパックシリーズ」など、豊富なアイテムをそろ

えている点を評価いただいております。また、こうした新製品や注目シリーズをより広く発信するべく、昨年には北原産業公式インスタグラムを開設いたしました。デジタルリー

にも役立つ試みとして、得意先からも非常に好評です。さて、近年の小容量ニーズ傾向なども後押しとなり、容器が必要とされるシーンは、今後ますます増加していくものと

ただける「良い商品づくり」を念頭に、競合他社にはない発想と技術開発力を駆使し、独自の提案を行ってまいりたいと考えています。新型コロナの完全収束はまだ見通せず。

こうした状況下、当社ではこの一年を、市場を見極める「精査の年」と位置付け、新たな時代に真に求められる提案を追求するとともに、開発重視の姿勢で臨みます。そして、お客さまの期待に応えるべく、当社にしか作れない商品づくりにまい進してまいります。

ただける「良い商品づくり」を念頭に、競合他社にはない発想と技術開発力を駆使し、独自の提案を行ってまいりたいと考えています。新型コロナの完全収束はまだ見通せず。